

令和元年 9 月 3 日

TJCAS-2019 参加報告書

帝京平成大学 環境情報学研究科環境情報学専攻
八柄 源

1. 参加学会名称

2019 Taiwan and Japan Conference on Circuits and Systems
(TJCAS2019 at Nikko)

開催場所

輪王寺「紫雲閣」1,2 階

Hotel 「千姫物語」

日光東照宮「客殿」



写真 1 日光東照宮客殿



写真 2 TJCAS のポスター

開催期間

2019 年 8 月 19 日～21 日

2. 背景と参加学会について

帝京平成大学の大学院、環境情報学研究科に進学したが、元々工学系は習っておらず、知識はほぼ 0 からのスタートで研究を始めているが、未だに慣れない点もある。

そんな中、研究への経験を深めるために、指導教員である青木教授の勧めで、国際学会へ論文を提出し、参加することとした。

8 月 20 日の Poster Session 1 の 1C(Circuit Theory)にて、Gate Leakage Current Model of AlGaN/GaN Ridge HEMTs のタイトルでポスター展示を 90 分間行った。

August 20th (Day 2)	Morning	Plenary Talks		
	13:40 ~ 15:10	1A Bio-Medical Applications	1B Oscillators / Switching Converters	1C Circuit Theory
	15:30 ~ 17:00	2S Special Session I	2B Power Circuit	2C Amplifiers / Data Transmission Circuits
	Evening	Banquet		

*	1C-09	Gen Yagara, Hitoshi Aoki (Teikyo Heisei Univ.), Hiroyuki Sakairi, Naotaka Kuroda, Atsushi Yamaguchi (ROHM Co., Ltd)	Gate Leakage Current Model of AlGa _N /Ga _N Ridge HEMTs
---	-------	--	---

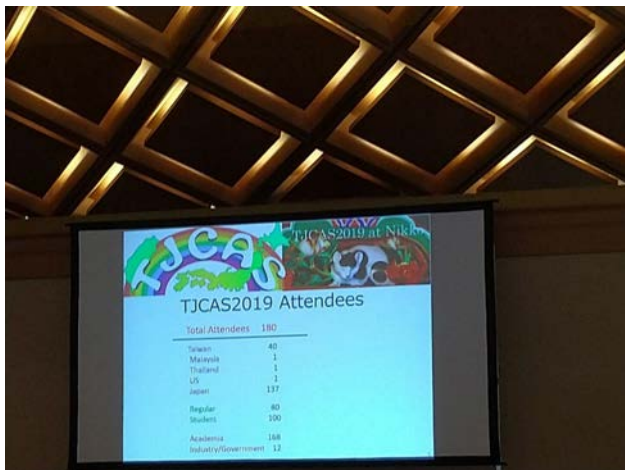


写真3 オープニング中の1枚

3. 発表内容

ポスター展示では、共同研究の形で企業から提供された、p型ゲート構造または Ridge 構造と呼ばれるエンハンスメント型化合物トランジスタモデルの紹介、またそのモデルから発生するリーク電流がいかほどかを、調べるために作成したシミュレータを用いて、測定値とシミュレーション値の比較検証を行い、その結果について発表した。

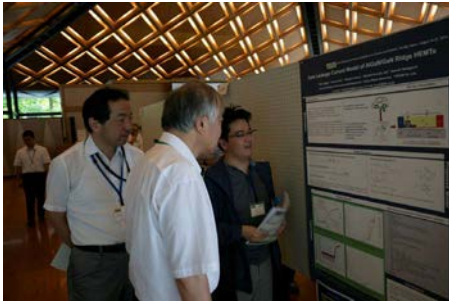


写真4 ポスター展示中

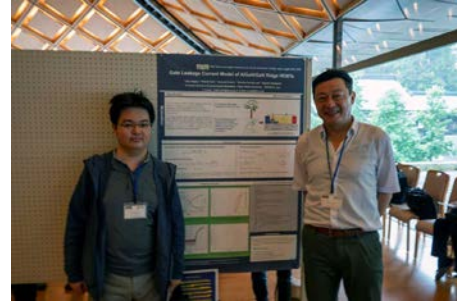


写真5 筆者と青木教授

4. 感想

このような学会に参加したことはこれまで一度もなく、人生初の学会への参加、更に国際学会であるため「英語」による発表という、経験のないこと尽くしで、とても緊張した中で
の発表となった。

その上で今回のポスター展示においては、己が出せる力を出して、90分という時間の中
で発表内容の解説や疑問に答え、理解して頂くことが出来たと思う。

学会委員長からは「よく説明ができていた、これからも勉学に励んで欲しい」と、お褒めの
言葉を頂いた。

経験や反省を活かし、これからの勉学にも励みたい。

5. その他

日光に来るのは小学生の時の修学旅行以来約10年ぶりであったが、今回の開催場所にな
った日光東照宮など歴史ある重要な建造物を見ながら、10年前の自分がどうであったか。
その時どのような印象を抱いていたのかなど、当時を振り返りながら拝観した。

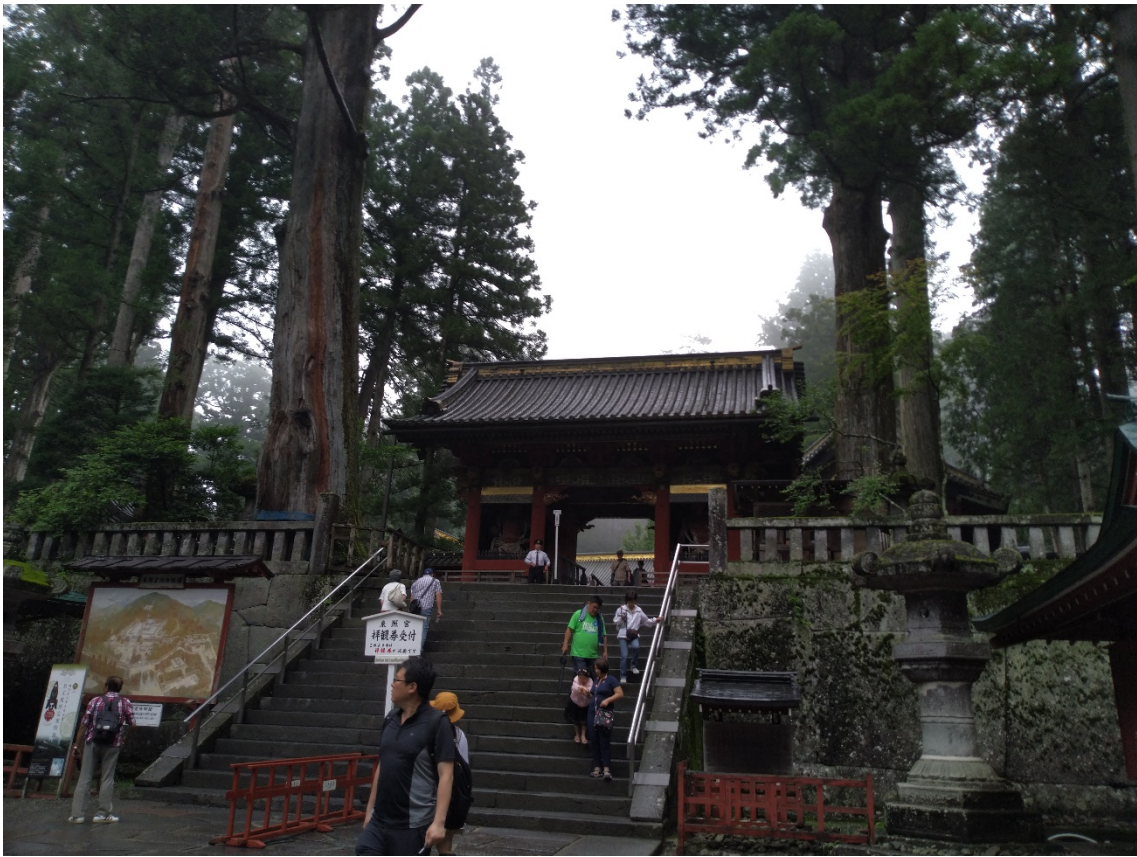


写真 6 日光東照宮

謝辞

最後に論文やポスター作成の指導から TJCAS2019 への参加の機会を用意して下さいました青木教授、Ridge 構造の化合物トランジスタの共同研究にて、デバイス測定データを提供いただいた、ローム株式会社様に深く感謝を申し上げます。